

## ミニセミナー開催

日時：2009年11月18日 19:00-21:00

場所：日本製粉株式会社

題名：日本・フランス・ケニア・カンボジア

パン食文化を通じた出逢い

ーそこにあるもので人を幸せにできるー

講師：ベーカリーコンサルタント 鈴木優子氏



サントノーレ幹事の一人であり、フリーのベーカリーコンサルタントをしている鈴木氏を講師に、日本や海外でパンやチーズ、ワインなどを中心とした食に関する職業経験談を聞くミニセミナーに会員 35 名が受講しました。

鈴木氏は 97 年に日本製粉株式会社に入社し 2000 年に青年海外協力隊に参加しアフリカ・ケニアに 2 年間赴任しました。現地の専門学校で栄養学・食品学の講義や調理実習の実技などを一教師として指導。日本とケニアの文化の違いに悩みながらも現地にある食材で美味しい物を作り周囲の人々に喜んでもらえる工夫をして過ごしていたそうです。

日本製粉退社後 2006 年にはフランスの食文化の吸収を目的として渡仏。現地で研修先を探し 4 箇所で行った。チーズ熟成士の下でチーズの扱い方、売り方、食べ方を教わりチーズ製造農家で牛の世話、チーズ作りを教わり、ワイナリーではブドウの収穫、ワイン作りを教わり、リテールベーカリーでは製造・販売の両方でフランスに根付くパン食文化を肌で感じた。2008 年にはカンボジアパンプロジェクトのボランティアとして現地の学校で原価計算やパンの技術向上のお手伝いをした。

小さい頃からパンが好きで、パンの仕事に携わるといふ夢がかない、海外での生活も経験した。20 代の頃はやりたい事に向かって走り続けることが美德と思っていたが 30 代にはいり、時には立ち止まって周囲を見つめること、走り続けられない大切さを意識している。今後楽しさを忘れずにパン業界を歩んで行きたいと締めくくりました。

会の終わりには懇親会の時を持ち、参加者の海外談義に花が咲きました。